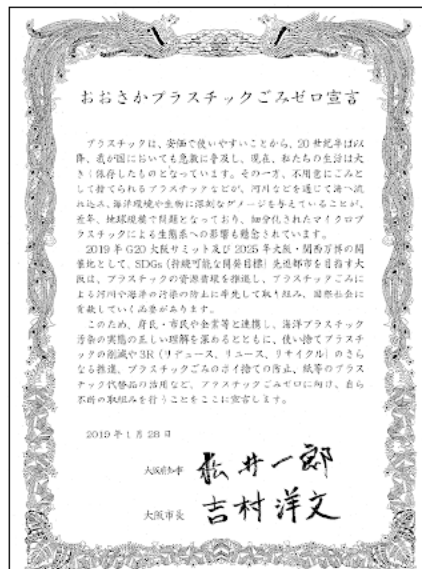


大阪市と大阪府は、2019年G20大阪サミット及び2025年大阪・関西万博の開催地として、プラスチックごみゼロに向け、使い捨てプラスチック削減のさらなる推進を行うことなどを盛り込んだ「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を行いました。【宣言日 2019年1月28日】



松井知事（左）と吉村市長（右）【当時】



宣言にかかる大阪市の取組状況

- ▶ 大阪市としてのプラスチックごみ削減目標を策定
- ▶ エコバッグを常に携帯する運動の推進
- ▶ 地域、事業者との連携による新たなペットボトル回収・リサイクルシステムの構築
- ▶ 国連環境計画国際環境技術センター等と連携し、大阪市の取組みを世界に発信 など

大阪市「プラスチックごみ削減目標」【策定日 2019年5月31日】

1. ワンウェイのプラスチック（容器包装等）を25%排出抑制（リデュース）する。（2005年度比）
2. 容器包装プラスチックの60%を資源化（リサイクル）する。
3. また、ペットボトルを100%資源化（リサイクル）する。
4. なお、残りのプラスチックごみについては引き続き削減・資源化を進めるが、熱回収を含め100%プラスチックごみの有効利用を図る。

※対象／大阪市が収集するプラスチックごみ、目標年次／2025年度

大阪エコバッグ運動

使い捨てプラスチックのない社会への第一歩として、 「大阪エコバッグ運動」を推進

◇「大阪エコバッグ運動」とは

急な買い物の時も含めてレジ袋を使用することのないよう、エコバッグを常に携帯する運動

◇「大阪エコバッグ運動」の推進

スーパーマーケットやコンビニエンスストア等、多くの事業者や市民団体など、あらゆるステークホルダーと連携し、市民の意識改革とライフスタイルの変革を目的とした啓発に取り組む

◇具体的な取組み内容

- ・エコバッグを常に携帯することの啓発活動
- ・エコバッグの携帯にかかる啓発ポスターや啓発動画の作成
- ・あらゆるステークホルダーと連携した啓発キャンペーンの実施 など

レジ袋削減協定式

(2019年6月7日)

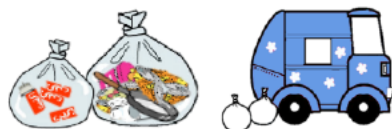
事業者・市民団体・大阪市の
3者による「レジ袋削減協定」
を締結し、レジ袋削減に向け
た取組を進めています



地域、事業者との連携による 新たなペットボトル回収・リサイクルシステム

< 現状 > 行政回収（資源ごみ収集）

資源ごみ（ペットボトル、空き缶、
空きびん、金属製生活用品等）



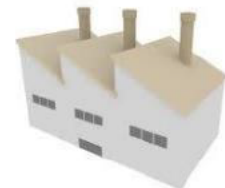
大阪市



選別施設



再資源化事業者



廃棄物として有料で再資源化

地域

新たなペットボトル回収・リサイクルシステム

売買契約

売却

参画事業者

圧縮・梱包等施設

圧縮・梱包等設備



圧縮梱包（ペール化）



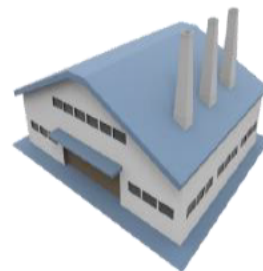
ペール品

売払費用

連携

引き渡し

再資源化事業者



排出時から再資源化まで有価物（原料）として取引



「キャップ」と「ラベル」を外し、中身を出して、さっと水洗いして排出

環境省と連携した「プラスチックの資源循環に関する先進的モデル事業」

事業概要

- ◆目的：環境省と連携して、他の地域や自治体での実施に向けた課題整理、検証を行う
- ◆時期：2019年10月（1か月間）
- ◆地域：2地域（小学校区単位）◆人口：9,573人（4,170世帯）



主な結果

分別排出の向上

焼却されるごみ（普通ごみ）の中から
ペットボトルの割合が大幅に減少

約22% ⇒ 約4%

※新しいペットボトル回収開始前後
(2019年9月 ⇒ 10月)

ペットボトルの
回収量が大幅に増加

1,479kg ⇒ 1,900kg

※2地域合計
(2018年10月 ⇒ 2019年10月)

適正排出状況

適正排出(※)の
割合が大幅に増加

約47% ⇒ 約84%

※「キャップ」と「ラベル」を外し、
中身を出し、さっと水洗いして排出

モデル事業実施地域の住民アンケートより

ごみをきれいに捨てる意識
が高まった捨てるものにも
愛を感じる

全国に広まるとよい
と思う

地域コミュニティ内で
のつながりが深まる



ラベルとキャップを外して排出



集合住宅では専用箱により排出

SDGsの取組みに関する情報発信と国際協力の推進

- 国連環境計画国際環境技術センター(UNEP-IETC)等と連携して、プラスチックごみの削減など、大阪のSDGsに関する取組みを国内外に発信。
- 情報発信を通して、市民・事業者に対して、環境保全への認識と地球規模での環境問題の理解を深め、SDGsに関する取組みを促進する。

大阪のSDGsの取組み

<ペットボトル回収・リサイクルシステムの構築>



<その他のモデル事業の取組>



- ◆ 先進事例、実施成果の蓄積
- ・自治体SDGsモデル事業 等

ステークホルダーズミーティング



- ◆ SDGsの先進的/好事例の選定
- ◆ 様々な主体との連携協働の提案
- ◆ 情報発信方法や海外展開の提案

情報発信



国内外の国際会議等



UNEP-IETCのネットワークの活用

- ◆ 好事例の他地域への拡大
- ◆ 途上国で顕在化する環境問題の解決への貢献